

萌

MOE

第7号

平成15年3月14日(金)

発行 宮崎中学校区地域教育会議

議長 持田 正美

編集 広報委員会

将来の夢はなんですか?!

子ども達の「将来の夢」はなんだろう? 地域教育会議・地域教育委員会では、「将来の夢」をテーマに、子どもの部(昨年12月7日)と大人の部(1月25日)の2回にわたって座談会を開催しました。子どもの部では小学生と中学生とで一緒に話し合ってもらいましたが、小学生はまだ親の影響力が強く、中学生はしっかり現実の中で生きているというというのが印象的でした。2回の座談会を通して、大人は最初から大人ではなく、子どもはいつまでも子どもではない、こんな当たり前のことをあらためて感じました。

子どもの部・男子(中学生4人、小学生2人)では、将来の夢として「野球選手などのスポーツ選手」「子ども会のジュニアリーダー」「警察官」「親の家業を継ぐ」などが挙がりました。また、中学校生活についての質問には、「部活や勉強が厳しい、お弁当の時間が短い、小学校と比べて上下関係がはっきりしている」などの声が聞かれました。小学生は中学校が楽しみな反面、「勉強や先生が厳しそう、いじめなどを心配」しているようでした。

女子(中学生1人、小学生5人)は「画家」「ソフトボールの選手」「保育士」「獣医」「婦人警官」が将来の夢だそうです。また、理想の結婚相手の話題で盛り上がり、「優しい人、何でも手伝ってくれる人、子どもの面倒を見る人」などが人気でした。

大人の部では、子どものころの夢が大人になるまでにどう変わっていったか、また、これからの夢はなにか、という趣旨で話し合いが進められました。子どもの頃の夢は「スチュワーデス」「アナウンサー」「音楽家」「手芸家」「先生」。けれども挫折や中断を経験しつつ、現在に至る様子は、大人同士ではあまり話す機会がないせいか、語る方も聞く方も新鮮でした。お母さん方が中心だったので、結婚が大きなターニングポイント、あるいは



夢の終わりとなる場合が多いようで、子どもの夢に自分の夢を重ね合わせていたという方もいました。それでも、子育て後に思い描く夢を語る方もたくさんいました。

☆ ☆ ☆

心を澄まして聞いてみると子ども達なりに真剣に将来を考えていることが分かります。多くの情報に囲まれ、分かりにくい今の子ども達ですが、その心を深くまで理解して、思いやりの心で見守っていこうという気持ちが大切なのではないのでしょうか? また、大人も生きがいを持つために、将来の夢に向かって努力している姿を子どもに見てもらふことは必要ですね。

子どもと大人、経験の年数は違いますが、ともに夢を育んでいける温かい地域でありたいと思いました。地域教育会議がその橋渡しをできれば、と願っています。

宮崎小学校を大きなふれあいの場に！

学校長訪問の第2回目は、宮崎小学校の白井達夫校長先生にお話を伺いました。宮崎小は来年度130周年という長い歴史を持った小学校です。また児童数約1200人の大規模校。大規模校の良さはたくさんの出会いが作れること、とおっしゃる白井校長先生の子ども達や地域に対する熱い想いを伺いました。

私が宮崎小に赴任したのは2年前の春。桜の時季ということもあり、こんなに美しいところが川崎にあるのかと感動したことを覚えています。地域の方も協力的で温かい方ばかり。宮崎小に赴任して本当によかったと思っています。

宮崎小は平成15年度に130周年を迎え、11月1日に式典を行うことになりました。式典の実行委員長は『宮崎会』（注：宮崎小PTAのOB会）の会長さんをお願いしていますが、子どもが中心になった「バースデー130委員会」の委員の子達も式典の準備をしてくれています。『未来へ夢をひろげよう』のキャッチフレーズやシンボルマー



6年生の原案をもとに13年度の卒業生がデザイン化した130周年のシンボルマーク

ク、マスコットキャラクターも子ども達から募集しました。子ども達には130年の伝統というのは分かりにくいかもしれませんが、少しずつ意識をもち始めているような気がします。

今の子は思いやりの心が薄れてきているといわれていますが、それは体験不足や想像力の欠如からくるのだと思います。宮崎小では体験学習を重視し、人と関わる機会を増やすよう努力しています。学校も、保護者の方や地域の方が、子ども達に関われるような工夫をする必要があると思っています。

学校と保護者・地域を結ぶためには、まず第一に“発信すること”が必要だと思っ



ています。毎月「学校便り」を町内会の回覧板に入れさせていただいたり、ホームページを開設したりと、学校からいろいろな情報を発信しています。

第二は“学校においていただくこと”です。保護者の方には学年ふれあいデーを作り、各学年で工夫して、見ているだけでなく参加できる形を試み、たくさんの保護者の方においていただくようにしています。地域の方にもふれあい祭りや運動会においていただくたり、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし子ども達に伝承遊びを教えてもらったりするなど、子ども達とふれあう場を作る工夫をしています。

宮崎小はマンモス校ということで、大変ではないかという声を聞きますが、大規模校の良さはたくさんの出会いがあることです。1200人の子どもの保護者が学校に集まれば、大きなコミュニティーになります。さらに地域の方に入ってきてもらうと、学校を中心としてたくさんの地域のふれあいができます。学校に来ることで宮崎の人たちの繋がりができる。その可能性が学校にはあると思うのです。学校が地域のコミュニティーの核になれば素晴らしいことだなと思っています。

（白井校長先生談 文責・広報委員会）

地域教育会議に対するご意見、ありがとうございました

「萌」6号でご報告したように、昨年、地域教育会議の生涯学習委員会は「健やかな子どもの成長を願って～あなたも地域教育会議に参加しませんか～」(講師・川崎市教育委員会生涯学習推進課・小田友一氏)と題したミニ講演会を校区4校の保護者の方を中心に集まっていたいただき開催しました。その際、アンケートをお願いしましたので、その一部をご紹介します。

地域教育会議の名称の知名度	80%
地域教育会議の活動内容の知名度	20%

☆ 地域教育会議に望むことはなんですか ☆

地域教育会議の名称が固いのでほかの愛称でもあれば／地域との交流の機会の提供／子ども対象の職業体験／勉強が楽しくなる体験学習／親子パソコン教室／さまざまな年代が集まって意見交換できる場の提供／親子で参加できる講演会／異年齢の子ども同士が交流できる学習会／見学会

など、この他にも多数のご意見やご要望がありました。ご協力ありがとうございました。これらを参考に今後みなさま方に期待を 持たれるような地域教育会議にするために努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

.....



地域の方のご協力で
宮崎小のゴミ置き場が
変身しました

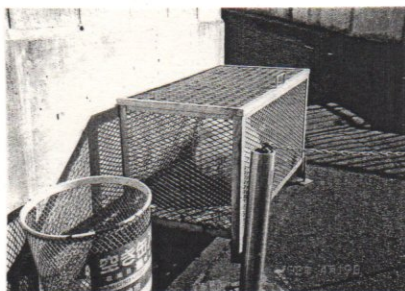
宮崎小学校の周辺のゴミ置き場がすっきりしています。

実はこれにはわけがあります。そのわけとは地域の方の協力によるものなのです。

学校というところは多くの方が来校されるので、その通路にあるゴミ置き場は、美しくしておきたいと地域の方が考えてくださいました。地域の有志の方が、地域の鉄工所の方に相談して、鳥や犬・猫に荒らされないように設計したものだそうです。費用はかかりましたが、作って利用してみると、「きれい」「作ってよかった」との声が多くあるそうです。

鉄工所の方にも取材してみると、大きさは出す世帯数によって違い、設置場所によって形を変えるそうです。また、児童の安全や清掃車の方が使いやすいように工夫しているそうです。

地域の方々の温かい心配りが、学区の環境をさらに良いものにしています。



変身したゴミ置き場



今年のテーマは
「きてみて あそんで
たのしんで！」

3月9日(日)、第7回青少年の家フェスタが行われました。

当日は少し風があったものの、お天気に恵まれ、青少年の家は準備の人たちや早くも遊びにきた人たちで朝からにぎわっていました。

今年もユースワーカーズ倶楽部の青年ボランティアの皆さんが企画・運営し、元気いっぱいフェスタを盛り上げてくれました。

大塚太鼓の威勢のいい太鼓を合図にフェスタはスタート。プレイホールでは来賓の方をお招きした開会式の後、青少年の家を利用している各種団体が日頃の活動の成果を発表しました。

館内や庭には遊びのコーナーや模擬店、フリーマーケットなど、子どもからお年寄りまで楽しめるお店がたくさん出店され、その中で地域教育会議も模擬店を出店してアピールしてきました。



あなたも地域教育会議に参加しませんか！

宮崎中学校区地域教育会議・住民委員募集

地域教育会議は、子ども達が健やかに育つ環境を作るために、学校と保護者と地域を結ぶ活動をしています。

活動は年1回の総会、2ヶ月に1回の定例会議、広報・生涯学習・地域教育など各委員会の活動などありますが、現住民委員の方々も負担のないように参加しています。

私たちと一緒に、子ども達の未来について話し合いませんか？

お問い合わせは事務局までお願いします
宮崎中学校 TEL: 866-3372

《住民委員募集要項》

- 1 募集人数：10名程度 任期：2年
- 2 募集期間：
平成15年3月17日（月）～4月18日（金）
- 3 委員の資格要件
 - ①宮崎中学校区に在住で満20歳以上の方
 - ②教育会議の趣旨を理解し、ボランティアで活動に参加していただける方
- 4 応募方法
 - ①所定の応募用紙に必要事項を記入し、事務局（宮崎中学校内）に提出してください
 - ②応募用紙を用意してある場所は宮崎中学校、宮崎小学校、梶ヶ谷小学校、西梶ヶ谷小学校

住民委員・及川さんの

ちょっと一言！

心を鍛えて、はじめて人間らしくなる

世界一に、高齢者や高収入者が多くなった日本であるのに、どうして高齢者の自殺がふえているのか。一方で20歳前後の若者による殺人事件や、放火による窃盗事件が頻発しているのは何故だろう。文明大国とよばれている我が国の現状から見て、大変悲しむべき現象である。このような時に我々地域住民や、地域教育の中心である小中学校教育との連携をどのように推進すべきか大きな課題であろう。

「大人が変われば子どもも変わる」運動の目標は大変すばらしいが実践化が難しい。地域環境や学校環境に格差があるので残念である。次世代を担う青少年の持つ心を、いかに鍛えるか。心の構造を改革するために、地域住民はどのように協力できるか大きな課題である。より具体化するために、宮崎小学校の白井校長さんが言う「学校からの発信」をより強く、より多くお願いしたい。そして、地域教育会議が本物になって欲しい。

INFORMATION

4月7日（月）入学式

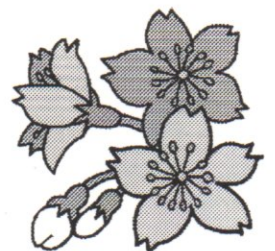


宮崎中学校
宮崎小学校
梶ヶ谷小学校
西梶ヶ谷小学校

編集後記

宮崎中学校区の小中学生のみなさん、保護者のみなさん、ご卒業、ご入学、おめでとうございます。

巻頭記事にあるように、子ども達が将来に大きな夢を描ける地域の子育て環境を作ることが、地域教育会議の夢です。この夢に向かって地域教育会議は新年度もよりいっそう頑張っていきたいと思います。応援、ご協力、よろしくお願いします。



「萌」に対するご意見・ご感想はこちらへ！

ファクス: 044-855-1481 eメール: nmiya@vy.catv.ne.jp